

活動紹介

■活動場所

文化会館、中部地区市民センター
四日市公害と環境未来館等

■活動日・活動頻度

活動は、不定期。2011年5月から開催。
29年度は、下記のように3回開催
18年2月の講演会で38回目となります。



■活動内容

2017年9月30日

映画『チャルカ』（核のゴミを描いたもの）上映と、
早川しょう子さんの瑞浪超深地層研究所への反対運動
の報告。

2017年10月28日

除本理史さん講演「四日市公害から福島からへ」

2018年2月24日

講演会「福島原発刑事訴訟の現状」



代表者の環境や活動に関する思い

活動の原点は、「四日市公害の教訓」と考えております。四日市公害訴訟で、原告側証人をされた宮本憲一さんの「福島原発事故は、史上最大最悪の公害」という指摘、また、澤井余志郎さんの「行政と企業と市民は緊張関係を」という指摘を忘れずに、グローバルな環境問題として、原発のあり方を、市民の立場で、色々な角度から学んでいきたいと考えています。

その他PR

何度も、お話を伺わせてもらいました澤井さんと野田さんの、四日市公害の語り部としての写真80枚余を掲載した写真集『澤井さん野田さん《同行二人》』を作成し、資料館や図書館に寄贈してあります。宜しければ、一度ご覧下さい。ご希望の方には、増刷して提供できます。